

学年・教科・担当者	S組 1年 国語科 山口 玲子
-----------	-----------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	朝のリレー 言葉に出会うために はじまりの風	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景などを表す多様な語句に着目し、作品を味わう素養を身につける。</li> <li>・音読や発表、作文などの基本的な技法を身につける。</li> <li>・心情を表す表現や登場人物の行動から、主人公の気持ちの変化を捉える。</li> </ul>
	5	情報を聞き取り、要点を伝える 話の構成を工夫しよう 漢字の組み立てと部首 ダイコンは大きな根？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や情報に応じて話を的確に聞き取りメモを取る。内容を整理して相手に伝える。</li> <li>・わかりやすく伝わるように、話の構成や表現を工夫する。</li> <li>・漢字の組み立てや部首などの理解を深める。</li> <li>・段落の役割に着目して文章を読む。</li> </ul>
	6	ちょっと立ち止まって 情報を整理して説明しよう 指示する語句と接続する語句 空の詩 三編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成に着目し、要旨をとらえる。</li> <li>・情報を取捨選択し、分かりやすく説明するためにまとめ方や順序を工夫する。</li> <li>・指示する語句・接続する語句の働きを整理する。</li> <li>・詩の内容を理解し、筆者の考えに触れ、自分なりの感想を持つ。言葉の違いを理解し、日常生活での使われ方を考える。</li> </ul>
	7	さまざまな表現技法 比喻で広がる言葉の世界 言葉のまとまりを考えよう 語彙を豊かに 情報収集の達人になろう 読書を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な表現技法の特徴とその効果を理解し、自分の表現の工夫に生かす。</li> <li>・比喻について理解し、生活への生かし方を考える。</li> <li>・文の区切れや言葉の単位を学ぶ。</li> <li>・気持ちを表す言葉を集め、適切な言葉を選ぶ。</li> <li>・情報を整理し、著作権について理解する。</li> <li>・読書生活を豊かにするための活動を実践する。</li> </ul>
2	9	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 項目を立てて書こう [推敲]読み手の立場に立つ 方言と共通語 聞き上手になろう 漢字の音訓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や風景の描写を基に、心情を捉える。</li> <li>・場面と場面、場面と描写を結び付けて、作品を解釈する。</li> <li>・情報を整理し、構成を考えて書く。</li> <li>・読み手の立場に立って、案内文を推敲する。</li> <li>・共通語と方言の役割や活用場面について考える。</li> <li>・聞いたことを基に考えをまとめ、質問のしかたを工夫する。</li> <li>・漢字の「音」や「訓」の歴史や性質について理解する。</li> </ul>
	10	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 意見と根拠 根拠を明確にして書こう 言葉の関係を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の意見をそれを支える根拠との関係を理解する。</li> <li>・文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。</li> <li>・適切な根拠の在り方や意見と根拠の結び付きについて考える。</li> <li>・根拠を明確にしてレポートを作成する。</li> <li>音読の方法を復習しながら詩人の感性に触れる。</li> <li>・文節同士の関係について理解する。</li> </ul>

		大阿蘇	・情景を思い浮かべたり、言葉の響きやリズムを味わったりしながら朗読を聴く。
	1 1	いろは歌 蓬萊の玉の枝 古典の言葉 今に生きる言葉 漢文を読む	・音読して古典のリズムを味わい、その世界に親しむ。 ・古典に触れ、味わい楽しむと同時に、昔の日本人の考え方や感じ方に触れ、現代に通じることを理解する。  ・漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。 ・故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。
	1 2	「不便」の価値を見つめ直す  進め方について考えよう  話題や展開を捉えて話し合おう  研究の現場にようこそ	・文章を要約し、筆者の主張に対して自分の意見をもつ。 ・よりよい話し合いにするための効果的な工夫について話し合い、考えをもつ。 ・意見と根拠を明確にして話し合う。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。 ・研究に関する本に触れ、自分の考えを広げる。
3	1	少年の日の思い出  単語の性質を見つけよう  二十歳になった日	・場面の展開や表現の効果に着目し、登場人物のものの見方について考える。 ・単語が自立語・付属語に分けられ、さらに活用の有無があることを知り、品詞や体言・用言について理解する。 ・随筆の構成や表現の効果について考える。
	2	構成や描写を工夫して書こう	・目的に応じて、自分の考えや気持ちを整理して書く方法を学ぶ。
	3	一年間の学びを振り返ろう  ぼくが ここに	・情報整理の知識や方法を活用し、資料を作る。 ・相手の反応を踏まえながら話す。 ・詩の言葉や表現を読み味わい、作者の思いについて考える。

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能	定期テスト、小テスト、書写など
②思考・判断・表現	定期テスト、ワークシート、話し合い活動など
③主体的に学習に取り組む態度	授業中の観察、ワークシート、提出物など